

2008年度 同志社大学大学院  
司法研究科法務専攻（法科大学院）専門職学位課程  
入学試験 第2次審査  
試験問題

法律科目試験  
(刑 法)

[注意]

1. 試験開始の合図があるまで、この表紙を開けてはいけない。
2. 資料として配付する六法もケースに入れて机の上に置き、試験開始の合図があるまで、開けてはいけない。また、六法に傍線等書き込みや折り曲げをしてはいけない。
3. 筆記用具（ペンまたは鉛筆）、消しゴム、下敷き（ただし、下敷き使用の場合は監督者の許可を得ること）、その他監督者が特に許可したもののほかは使用できない。これ以外の携行品は、監督者の指示に従って所定の場所に置くこと。
4. 問題紙の本文は、1頁である。試験開始後ただちに欠落や印刷の不鮮明な箇所がないか確認すること。欠落や印刷の不鮮明な箇所がある場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
5. 解答用紙は、3枚1組である。
6. 各解答用紙の左下に受験番号の記入欄がある。組になっている2枚目以降の解答用紙の受験番号欄にも受験番号を正確・明瞭に記入すること。
7. 解答は、ペンまたは鉛筆で記入すること。
8. 試験開始後は、終了まで試験場から退出できない。
9. 試験はすべて監督者の指示によって行う。監督者の指示に従わない場合や不正行為を行ったときは、試験場から退出させる。
10. 試験中に気分が悪くなる等やむを得ない場合は、黙って手を挙げ、監督者の指示に従うこと。
11. 試験終了の合図とともに、すみやかに筆記具を置き、監督者の指示を待つこと。許可があるまで試験場を退出できない。
12. 試験終了後、問題紙は各自持ち帰ること。
13. 携帯電話やPHS等の通信機器の使用は認めない。電源を切ってカバン等にしまうこと。
14. 試験時間中の飲食は禁止する。ただし、水分補給のため、ふた付きのペットボトル（ペットボトル以外は不可）に入った飲料を持ち込んで飲むことを認めるが、机の上に容器を置かず、必ずふたを閉めて足元に置き、机上にこぼしたり、水滴によって解答用紙を汚損しないよう十分注意すること。

2008年度 同志社大学大学院  
司法研究科法務専攻（法科大学院）専門職学位課程  
入学試験問題 法律科目試験

(刑 法)

【第1問】および【第2問】に答えなさい。

【第1問】

Xは、Aが普段使用しているA所有の自転車を路上において無断で持ち去ったとして、窃盗罪で起訴された。次のI～IVの各場合に、Xの弁護人は、Xの刑事責任を否定または軽くするためにどのような主張をすることが考えられるか。それぞれの弁解の内容に即し、理論的な根拠を示して各150字（6～8行）程度で答えなさい。なお、解答の際には、I～IVのいずれに関する主張かをそれぞれ明記すること。

- I Xが、「その自転車が他人の所有物であることは分かっていたが、置き忘れて長期間使用されていない放置自転車だと思って、自転車を自宅まで持ち帰った。」と弁解しているとき。
- II Xが、「自転車を見て急に乘ってみたくなり、自転車に乗ってその場を離れたところ、直後に警察官につかまった。10分ほど乗った後、元の場所に戻しておくつもりだった。」と弁解しているとき。
- III Xが、「自転車を見て自分の父親Bの自転車だと思い、無断で持ち去った。自転車を売って金にするつもりだった。Aの自転車だとは知らなかった。」と弁解しているとき。
- IV Xが、「Aに10万円を貸しており、Aが金を返せないときは代わりにAの自転車をもらう約束になっていた。しかし、返済期限を3か月も過ぎているのに、Aは、なかなか金を返してくれず、また、自転車を渡すよう求めてもAはこれに応じなかった。そこで、仕方なくAに無断で自転車を持ち帰った。」と弁解しているとき。

【第2問】

正当防衛には「補充性の要件」は不要とされるが、緊急避難には「補充性の要件」は必要とされる。その根拠を、正当防衛と緊急避難のそれぞれの正当化根拠の異同を明らかにした上で、説明しなさい。